目

次

示

第千七百三十六号

平成十九年

二月十五日

日

木 曜

# 山梨県告示第四十二号

次の病院を救急病院として認定した。 救急病院等を定める省令(昭和三十九年厚生省令第八号)第一条第一項の規定により、

平成十九年二月十五日

山梨県知事 Щ 本

栄

彦

救急病院の名称及び所在地

医療法人峡南会峡南病院 名 称 南巨摩郡鰍沢町千八百六番地 所 在 地

認定期間

. 七三 .七三

七三

七三

平成十九年二月二十七日から平成二十二年二月二十六日まで

. 七五 . 七四

土地収用事業の認定......

特定高山植物販売業開始届の提出...... 特定高山植物栽培業開始届の提出...... 救急病院等の認定...... 広域連合の設立......

の規定による特定高山植物栽培業開始届の提出があったので、同条第三項の規定により 山梨県告示第四十三号 山梨県高山植物の保護に関する条例(昭和六十年山梨県条例第十五号)第十条第一項

平成十九年二月十五日

次のとおり告示する。

. 七六

. 七六 . 七六

山梨県知事 Щ

本 栄

彦

一 二〇〇五番地 州町下教来石 裕 北杜市白	締役 宮沢充	有限会社信州	氏名及び住所
	〇五番地一下教来石二〇	北杜市白州町	地栽培場の所在
	ŦIJ	アツモリソウ及びホテイアツ  平成十九年二月一日	物の種名栽培しようとする特定高山植
		平成十九年二月一日	開始予定年月日

#### Щ 本 栄 彦

山梨県告示第四十四号

山梨県知事

山梨県高山植物の保護に関する条例(昭和六十年山梨県条例第十五号)第十一条第

平成十九年二月十五日

增穂町長、鰍沢町長、早川町長、身延町長、南部町長、

昭和町長、道志村長、西桂町

長、北杜市長、甲斐市長、笛吹市長、上野原市長、甲州市長、中央市長、市川三郷町長、

甲府市長、富士吉田市長、都留市長、山梨市長、大月市長、韮崎市長、南アルプス市

山梨県告示第四十一号

告

示

山梨県警察の組織等に関する規則の一部を改正する規則

. 七六

公安委員会

教育委員会

落札者等の決定について......

土地区画整理組合の解散認可...... 特定非営利活動法人の設立の認証申請......

申請のあった山梨県後期高齢者医療広域連合の設立については、地方自治法 (昭和二十 長、忍野村長、山中湖村長、鳴沢村長、富士河口湖町長、小菅村長及び丹波山村長から

|年法律第六十七号) 第二百八十四条第三項の規定により、平成十九年二月|日付けで

項の規定による特定高山植物販売業開始届の提出があったので、同条第三項の規定によ り次のとおり告示する。

平成十九年二月十五日

山梨県知事 Щ 本 栄 彦

氏名及び住所	所在地営業所の名称及び	の種名 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	日始予定年月
수	有限会社信州園芸	アツモリソウ及びホテイアツモ	平成十九年二
園芸 代表取	北杜市白州町下	IJ	月日
締役 宮沢充	教来石二〇〇五番		
裕 北杜市白	地		
州町下教来石			
二〇〇五番地			
_			

## 山梨県告示第四十五号

により、次のとおり土地収用事業の認定をした。 土地収用法(昭和二十六年法律第二百十九号。 以下「法」という。)第二十条の規定

平成十九年二月十五日

山梨県知事 Щ 本 栄 彦

### 起業者の名称

富士吉田市

### 事業の種類

(仮称)富士吉田市中央まちかど公園整備事業

Ξ

起業地

収用の部分 富士吉田市下吉田字中組地内

#### 2 使用の部分 なし

四

#### 事業を認定した理由 法第二十条第一号要件

二十条第一号の要件に該当する 法第三条第三十二号に掲げる「地方公共団体が設置する公園」であることから法第 (仮称)富士吉田市中央まちかど公園整備事業 (以下「本事業」という。) は、

法第二十条第二号要件

2

号に該当する。 する充分な意思及び能力を有する者であると認められることから、法第二十条第二 起業者は、防衛施設庁から補助金を受け、 財政措置を講じており、本事業を遂行

### 3 法第二十条第三号要件

# 申請事業の施行により得られる公共の利益

所とするため公園を整備する事業である。 本事業は、地域住民や観光客の憩いの場を創出するとともに、 災害時の避難場

り、商店街が衰退している。 側に富士見バイパスが開通し、 設が多く、富士吉田市の中心地として発展してきた。しかし、近年、 三十九号と市道月江寺大明見線が交差する地域であることから、商店及び公共施 起業地が存する富士吉田市下吉田地区 (以下「本地区」という。) は、国道百 大型商業施設等ができたため、人通りが少なくな 本地区の東

とした。 て、本地区を含む中心市街地の活性化を図るため、道路及び公園を整備すること このため、富士吉田市は、第四次総合計画及び都市計画マスタープランにおい

たな公園を整備することとした。 ヒアリングを行い、高齢者や観光客が散策を楽しみながら休憩や交流ができる新 その後、富士吉田市では事業を具体化するため、住民意向調査及び関係各課の

雪が積もっている時期には融雪型火山泥流が到達すると見込まれる地域であるこ とから避難場所の整備が必要とされている。 火山防災協議会」が作成した「富士山火山防災避難マップ」によると、富士山に 本地区は国の防災関係機関及び関係地方自治体により構成されている「富士山 一方、富士吉田市は、東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定されており、

施行により得られる公共の利益は大きいと認められる。 られるとともに、災害の際には避難場所となると認められることから、本事業の 本事業が完成すると、地域住民や観光客の憩いの場となり、地域の活性化が図

申請事業の施行により失われる利益

日曜日及び祝日には工事を行わないようする等、 等の発生を抑えるため、低騒音重機を使用することとしており、更に、土曜日、 ら造成工事は最小限とすることができる。また、工事にあたっては、騒音、振動 め、工事期間中の騒音及び振動に起因する周辺環境への影響が考えられるが、設 と認められることから、 置する工作物は小規模であり、起業地は既に駐車場として使用されていることか 本事業の施行により周辺環境に与える影響は、起業地は商店街や住宅に近いた 本事業の施行により失われる利益は軽微であると認めら 適切な対策を講じているもの

れる。

ため特別の措置を講ずる埋蔵文化財は見受けられなかった。また、起業者が市教育委員会に確認したところ起業地内には、起業者が保護の

三 代替案との比較

最も適当なものとして決定されたものであると認められる。れた三案について比較検討した結果、本事業の起業地が、これらの要件を満たす本事業の施行位置については、利便性、経済性、環境等の要件を考慮し選定さ

#### L比較衡量

であると認められる。るとともに、三で述べたとおり、本事業の起業地は、代替案と比較して最も適切るとともに、三で述べたとおり、本事業の起業地は、代替案と比較して最も適切本事業の施行により得られる公共の利益が失われる利益に優越すると認められ、「で述べた得られる公共の利益と」で述べた失われる利益を比較衡量した結果、「で述べた得られる公共の利益と」

められることから、法第二十条第三号に該当する。以上により、本事業は、「土地の適正且つ合理的な利用に寄与するもの」と認

# 法第二十条第四号要件

4

# . 申請事業を早期に施行する必要性

ると見込まれることから避難場所が必要とされている。よると、当該地区は富士山に雪が積もっている時期には融雪型火山泥流が到達す更に、「富士山火山防災協議会」が作成した「富士山火山防災避難マップ」にまた、富士吉田市は、東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定されており、

一起業地の範囲及び収用又は使用の別の合理性これらのことから、早期に本事業を施行する必要性は高いものと認められる。

要な範囲であると認められる。おり、また、身体に障害のある人に配慮した多目的トイレとする等、いずれも必本事業に係る起業地の範囲は、利用者見込み数から必要となる規模から求めて

にはなじまないため、収用とすることは、合理的であると認められる。また、起業地の範囲において、一時的な利用に供されるものは存在せず、使用

三 収用する公益上の必要性

ことから、法第二十条第四号に該当する。 以上により、本事業は、「土地を収用する公益上の必要がある」と認められる

5 結論

|折することができる。 | 1から4までで述べたとおり、本事業は法第二十条各号の要件に該当するものと

判断することができる。

法第二十六条の二第二項の規定による図面の縦覧場所以上により、法第二十条の規定に基づき、事業認定をするものである。

五

富士吉田市役所都市産業部統合事業推進室

# 山梨県告示第四十六号

おいて、この告示の日から平成十九年三月八日まで一般の縦覧に供する。路の供用を開始する。その関係図面は、山梨県土木部道路管理課及び峡東建設事務所に道路法(昭和二十七年法律第百八十号)第十八条第二項の規定により、次のとおり道

山梨県知事 山 本 栄

彦

平成十九年二月十五日

		一吹		
二 平 月 成 十 五 年 日	□ ; ○ · ○	番の三地先から「山梨市大字万力字一丁田二三一	四〇号	道 — 般 国
期日 開始の	(メートル)延	区間	路線名	種道類路の

## 山梨県告示第四十七号

おいて、この告示の日から平成十九年三月八日まで一般の縦覧に供する。路の供用を開始する。その関係図面は、山梨県土木部道路管理課及び峡南建設事務所に道路法(昭和二十七年法律第百八十号)第十八条第二項の規定により、次のとおり道

平成十九年二月十五日

 種類
 路線名
 区
 間
 (メートル) 期日

 道路の
 路線名
 区
 世
 長
 供用開始の

山梨県知事

Щ

本

栄

彦

Щ

梨

県

公報

県道 線 富士川身延 南巨摩郡南部町大字内船字橇田

侭下八一三〇番地先まで 南巨摩郡南部町大字内船字橇田 侭下八六七六番地先から 一〇七・○ | 二月十五日 一〇七・○ | 平成十九年

#### 公 告

特定非営利活動法人の設立の認証申請

•

に備え置いて縦覧に供する。 り特定非営利活動法人の設立の認証申請があった。その関係書類は、県民情報センター 特定非営利活動促進法 (平成十年法律第七号) 第十条第一項の規定により、次のとお

平成十九年二月十五日

山梨県知事 Щ

栄

彦

一 申請に係る特定非営利活動法人の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地並 びにその定款に記載された目的 申請のあった年月日
平成十九年一月二十五日

- 1 名称 特定非営利活動法人グリーンエネルギー研究会
- 2 代表者の氏名 西依三徳
- 3 主たる事務所の所在地 都留市小野千二十六番地
- 4 定款に記載された目的

や設置にも取り組む。 所として確立する。さらに、急峻で豊富な水を利用したマイクロ水力発電所の研究 してBDFや木材チップボイラー等を実用化し、その事業を障害者と共に働く事業 を目的とする。また、地域の生活や産業で排出するバイオマス廃棄物の再生事業と よる豊富な木材資源の有効活用と、森林により蓄えられた水のエネルギーを活かし た再生可能なエネルギー を活用する事業を通じて、地球温暖化防止に寄与すること この法人は、広く一般市民及び障害者を対象に、山梨の特徴である急峻な地形に

Ξ 縦覧期間 平成十九年一月二十六日から同年三月二十五日まで

土地区画整理組合の解散認可

のとおり土地区画整理組合の解散を認可した。 土地区画整理法(昭和二十九年法律第百十九号)第四十五条第二項の規定により、次

平成十九年二月十五日

山梨県知事 Щ 本 栄

彦

解散認可の年月日 平成十九年二月十五日 富士吉田市下吉田千八百四十二番

Ξ

事務所の所在地

富士吉田市役所内

富士吉田市御伊勢山土地区画整理組合

組合の名称

### 教育委員会

落札者等の決定について

•

シュで作成された政府調達に関する協定の適用を受ける調達契約に係るものである。 次のとおり落札者を決定した。なお、この公告は、千九百九十四年四月十五日マラケ

平成十九年二月十五日

落札に係る借入物品等の名称及び数量

山梨県教育委員会教育長

廣

瀬

嘉

県立学校教育情報化推進事業用パソコン等

契約に関する事務を担当する部局の名称及び所在地 山梨県教育庁高校教育課 山梨県甲府市丸の内一丁目六番一号

Ξ 落札を決定した日

平成十八年十二月十三日

兀 落札者の氏名及び住所

センチュリー・リーシング・システム株式会社 東京都港区浜松町二丁目四番一号

五 落札金額

四百五万三千円 (月額

六 契約の相手方を決定した手続

般競争入札

七 よる公告を行った日 地方自治法施行令 (昭和二十二年政令第十六号) 第百六十七条の六第一項の規定に

平成十八年十一月二日

## 公安委員会

# 山梨県公安委員会規則第一号

山梨県警察の組織等に関する規則の一部を改正する規則を次のように定める

平成十九年二月十五日

### 山梨県公安委員会

委員長 鶴 田 美

枝

山梨県警察の組織等に関する規則の一部を改正する規則

部を次のように改正する。 山梨県警察の組織等に関する規則(昭和四十二年山梨県公安委員会規則第一号)の一

加える。第三条中第十一号を第十二号とし、第十号を第十一号とし、第九号の次に次の一号を

十 外部通報に関すること。

第六条の四の次に次の一条を加える。

(犯罪情勢分析室)

第六条の五 警務課に犯罪情勢分析室を附置する。

る事務をつかさどる。 2 犯罪情勢分析室においては、犯罪情勢分析に係る企画、調査、調整及び指導に関す

第七条第三号中「機関誌の」を「教養資料の調査、収集及び」に改める。

第八条に次の一号を加える。

ル<br />
内部通報に関すること。

第七号までを一号ずつ繰り下げ、第六号の次に次の一号を加える。バー犯罪対策」を「サイバー犯罪」に改め、同号を第十四号とし、同条中第十二号からし、第二十四号から第十四号までを一号ずつ繰り下げ、同条第十三号中「総合的なサイーので、第十条第六号中「警備業法」を「警備業」に改め、同条中第二十五号を第二十六号と

七 探偵業に関すること。

二十三号」を加える。十二号、第十二号、第十四号、第十六号から第十九号まで及び第十二号」を「第十条第十一号、第十二号、第十四号、第十六号から第十八号まで及び第二第十条の三第二項中「第十条第十号、第十一号、第十五号から第十八号まで及び第二

九号とし、第六号を第八号とし、同号の前に次の一号を加える。 第十三条第四号中「及び指名手配」を削り、同条中第八号を第十号とし、第七号を第

七 犯罪分析に関すること。

第十三条中第五号を第六号とし、第四号の次に次の一号を加える。

五 指名手配に関すること。

第十三条の五第二項中「第四号まで」の下に「及び第六号」を加える。王・拊名三曹に間ですること

第十三条の六及び第十六条の三を削る。

Щ

梨

県

公報

第千七百三十六号

平成十九年二月十五日

析室」を加え、「、国際捜査室、暴走族対策室」を削る。 第二十二条第一項及び第二十三条の二第一項中「文書管理室」の下に「、犯罪情勢分六条の三とし、第十六条の五を第十六条の四とし、第十六条の六を第十六条の五とする。 第十六条の四第二項中「第十六条の二第四号」を「前条第四号」に改め、同条を第十

に改める。 行なう」を「行う」に、「初任総合教養」を「初任補修教養」

を加える。 第二十九条第三項中「警部の階級にある警察官」の下に「又はこれに相当する吏員」

察署を除く。)」に改める。 及び富士吉田警察署」を「警察署(北杜警察署、鰍沢警察署、南部警察署及び上野原警第三十条の二第一項中「甲府警察署、南甲府警察署、南アルプス警察署、笛吹警察署

上野原警察署」に改める。警察署及び富士吉田警察署を除く。)」を「北杜警察署、鰍沢警察署、南部警察署及び警察署及び富士吉田警察署を除く。)」を「北杜警察署、鰍沢警察署、南部警察署、苗吹第三十一条第一項中「警察署(甲府警察署、南甲府警察署、南アルプス警察署、笛吹

「又は刑事課」を削る。第三十二条第一項中「南甲府警察署」の下に「、韮崎警察署」を加え、同条第二項中

「七〇六人」を「七二一人」に、「一、一一二人」を「一、〇八八人」に、「一〇三人」第三十七条第二項中「五一三人」を「五三七人」に、「一九三人」を「一八四人」に、第三十二条の二第一項中「南甲府警察署」の下に「、韮崎警察署」を加える。

を「一一二人」に、「一、二一五人」を「一、二〇〇人」に改める。

別表第一総務の部中 秘 広 総 総 聴 務 務 第 第 広 報 書 秘 広 総 総 聴 務 務 第 第 広 報 書 を

広

聴

広報

総

務

第

秘

書

総

務

第

総 総 秘 務 務 第 第 二 — 書

| に改め、同表警務の部中

3	室 文 書 管 理
文	文
書	書
第	第
=	_
文	文
書	書

	 安	生活安全生	生					安全企画の部中				_		 を	第	広聴・広報	
	全広	生活安全第二	生活安全第			搜查	生活安全			対策策室	主舌安全		分和军官	] = = = 	室文書管理	_	
	報	寿	第 一			生活安全捜査				; 5	主 舌 安 全		犯罪情勢分析	文書第二	文書第一		
					三活安全捜査第	生活安全捜査第	——————————————————————————————————————	主舌安全叟查第	サイバー 犯罪対	安全広報	生活安全第二	生活安全第一	犯罪情勢分析	第	文書第一		
				_			搜查室 生活安全 ————————————————————————————————————	を			対策策	生舌安全		に改め、同表生活			
捜縮工	且我了是							対 組織 犯罪		削り、同表組織					生活安全搜查		
				一 維維 犯罪 持		情報分析	情報指定	企画・指導		同表組織犯罪対策の部を次のように改める。	7	分析 を で で	サイバー犯罪	生活安全捜査第	生活安全捜査第	生活安全捜査第	
	組織犯罪捜査第		組織犯罪捜査第	二組織犯罪授查第		組織犯罪捜査第一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	情報指定	企画・指導	庶	のように改める。	3	能 分 析 型		<u> </u>		に改め、	
		1	1		1	l	•	1	ı	J L		犯罪統計・分析				同表捜査第一の部中	
												こ效め、手口の頂を				犯罪分析	

山 梨 県 公 報 第千七百三十六号 平成十九年二月十五日

所	交通反則			វ	之 角 1 日 首			同表交通指表第一鑑識							
補佐	i	暴走族対策	ì	交通曳	]	指		、同表交通指導の部を次のように改める。別表第一鑑識の部資料の項中「資料」を「			三 組織犯罪捜査第				二 組織犯罪捜査第
交通反則通告		暴走族対策	交通搜查	指導	放置駐車対策	指導取締	庶		通訳	九組織犯罪捜査第		七丝彩彩	祖	六 組織犯罪捜査第	五組織犯罪捜査第
				- 別		情		に、「身元」を「指導」に改				<b>の</b>			
	署所警察	司が変え	7	<b>表第二</b> (第二	別表第二及び	報第四の項中	<b>L</b>	に改め、				部中	企		別表第一交通
ביים ביים ביים ביים ביים ביים ביים ביים	Źii.		記   言   7   1	こ置く課及び系 一十三条関係)	D別表第三を次の	情 報		同表警備第一の			分 駐 隊 大 小	部	運用	庶	通機動隊の部中
· 遺 · 数	Ź		it.		ように改める。	五を削る。		部情報第三の項中			月分駐	府分駐隊	画・運用	務	富士吉田分駐隊
								情 報 第 二	7		東部大月	西 3 3 3 3 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9 7 9	選		」」を削り、同表高速道路交通警察隊
	交通反則通告	交通反則通告署署署	交通反則通告     署       暴走族 対策	交通反則通告       署       事際署       課         交通反則通告       事際署       課	<b>別表第二</b> (第	交通反則通告       関表第二(第三十三条関係)         第       警察署       会計         交通反則通告       事務第二(第三十三条関係)         受通反則通告       会計         交通反則通告       会計         交通反則通告       会計         会計       会計         資失物       会計         企業       会計         資失物       会計         企業       会計         企業       会計         企業       会計         企業       会計         会計       会計         企業       会計         会計       会計         会計       会計         会計       会計         会計       会計         会計       会計         会計       会計	第       要       情報第四の項中       情報第四の項中       情報第四の項中       情報第三を次のように改別表第三を次のように改別表第三を次のように改別表第三を次のように改計を表現のである。	(京)     (京)       (日)     (日)       (日)     (	通告   1   1   1   1   1   1   1   1   1	通告   1   1   1   1   1   1   1   1   1	通告	連告   1	1	2	2

山 梨

組織犯罪対策	刑事第二						刑事第一					地域				生活安全	留置管理	
組織犯罪対策第	知能犯	鑑識	強行犯第二	強行犯第一	盗犯第二	盗犯第一	刑事庶務	自動車警ら班	地域第三	地域第二	地域第一	庶 務	少年	保安・生活経済	安全相談	生活安全	留置管理	犯罪被害者支援

						罗罗里	南甲府警										
		生活安全	留置管理		警務		会計		警備					交通			
保安・生活経済	安全相談	生活安全	留置管理	犯罪被害者支援	警務	遺失物	会計	警備第二	警備第一	事故捜査第三	事故捜査第二	事故捜査第一	指導取締	企画規制	国際捜査	組織犯罪対策第	_

山梨県公報 第千七百三十

	交通			組織犯罪対策	刑事第二						刑事第一					地 域	
指導取締	企画規制	国際捜査		一 組織犯罪対策第	知能犯	鑑識	強行犯第二	強行犯第一	盗犯第二	盗犯第一	刑事庶務	自動車警ら班	地域第三	地域第二	地域第一	庶 務	少年

												一人位置を分写在	南アルプ					
警備		交通				事		地域	生活安全			警務	会計		警備			
警備	交通第二	交通第一	鑑識	組織犯罪対策	捜査	刑事庶務	自動車警ら班	地域	生活安全	留置管理	犯罪被害者支援	警務	会計	警備第二	警備第一	事故捜査第三	事故捜査第二	事故捜査第一

山 梨 県 公 報 第千七百三十六号 平成十九年二月十五日

																	STATE OF THE STATE	u
交通		刑事第二				刑事第一					地域			生活安全			警務	会計
企画規制	組織犯罪対策	知能犯	鑑識	強行犯	盗犯	刑事庶務	自動車警ら班	地域第三	地域第二	地域第一	庶務	少年	安全相談	生活安全	留置管理	犯罪被害者支援	警務	会計

l																			
					The state of the s	屠 鰍 沢 警 察								Ę	者 北 杜 警察				
			刑事生活安全			警務	交通		地域			刑事生活安全			警務		警備		
	盤哉	捜査	生活安全	警備	警務	会計	交通	自動車警ら班	地域	鑑識	搜查	生活安全	警備	警務	会計	警備第二	警備第一	事故搜查	指導取締

山 梨 県 公 報 第千七百三十六号 平成十九年二月十五日

						留 留 吹 警察								F	南部警察			
		生活安全			警務	会計	交通		地域			刑事生活安全			警務	交 通		地域
少年	安全相談	生活安全	留置管理	犯罪被害者支援	警務	会計	交通	自動車警ら班	地域	鑑識	捜査	生活安全	警備	警務	会計	交通	自動車警ら班	地域
	Section 1	日下部警																
	警務	日下部警会計		警備			交通		刑事第二				刑事第一					地域
犯罪被害者支援		警	警備第一	警備警備第一	事故搜查	指導取締	交通       企画規制	組織犯罪対策	刑事第二知能犯	<b>釜</b> 舗	強行犯	盗犯	刑事第一刑事庶務	自動車警ら班	地域第三	地域第二	地域第一	地域 庶務
犯罪被害者支援	警務	部警会計	警備第二		事故捜査	指導取締	T	組織犯罪対策		<b>全</b>	強行犯	盗犯		自動車警ら班	地域第三	地域第二	地域第一	
犯罪被害者支援	警務	部警会計	警備第二		事故捜査	指導取締	T	組織犯罪対策		<b>全</b> 監部	強行犯	盗犯		自動車警ら班	地域第三	地域第二	地域第一	

梨県公報
第千七百三十六号
平成十九年二月十五日

留置管理

Щ

刑事

刑事庶務

自動車警ら班

捜査

組織犯罪対策

地 域

地域

生活安全

生活安全

-				大月警察															
			警務	会計		警備			交通		刑事第二				刑事第一				
	留置管理	犯罪被害者支援	警務	会計	警備第二	警備第一	事故捜査	指導取締	企画規制	組織犯罪対策	知能犯	鑑識	強行犯	盗犯	刑事庶務	自動車警ら班	地域第三	地域第二	地域第一

警察署

会計

会計

警 備

警備

交通

交通第一

鑑識

交通第二

警務

警務

生活安全

生活安全

安全相談

留置管理

犯罪被害者支援

地 域

庶務

少年

山 梨 県 公 報 第千七百三十六号 平成十九年二月十五日

								÷ .									
							87. 回程	察 上 野 原 警									
交通		地域			刑事生活安全			警務	警備		交通				事		地域
交通	自動車警ら班	地域	盤哉	捜査	生活安全	警備	警務	会計	警備	交通第二	交通第一	盤識	組織犯罪対策	捜査	刑事庶務	自動車警ら班	地域
																甲府警察	警察署名
	山の手交番			酒 扩 交 番	ET SA			城東交番					美 え す	<b>またる</b>	番		名称
 目 1 番	目 甲 1 府 市 7 美			の甲	3 5 5		E 1 1 3	目 甲 5 府 市 1 城					26 甲番 府16 市		丁 目 1	甲府市	位

# **別表第三**(第三十四条関係)

生活安全

生活安全

				署甲府警察	警察署名
山の手交番	酒折交番	城東交番	寿 交 番	番甲府駅前交	名称
目11番27号一丁	の一の一時根長町七	目15番31号	26 甲府16 日 16 日 17 日	丁目1番9号	位置置
に限る。)、朝日一丁目、朝日二丁目咲二丁目 (街区符号1番から13番まで甲府市のうち天神町、美咲一丁目、美	戸町及び横根町一丁目、酒折三丁目、和二丁目、酒折二丁目、酒折三丁目、酒折町、酒折町、東光寺町、東光寺一丁目、東光寺町、東光寺二丁目、善光寺二丁目、善光寺二丁目、善光寺二丁目の一下のうち善光寺町、善光寺一丁目甲府市のうち善光寺町、善光寺一丁目	城東五丁目 「世界市のうち中央二丁目、中央三丁目 「地東三丁目、城東一丁目、城東三丁目、城東三丁目(街区符号の番から12番(中央四丁目(街区符号の番から12番)で、中央四丁目(街区符号の番から12番)で	目、飯田四丁目及び飯田五丁目、飯田一丁目、飯田二丁目、飯田二丁目、飯田二丁目、相生二丁目、相生二丁目、相生二丁目、相生二丁目、相生二丁目(街区符号1番番に限る。)、寿町、相生二丁目、相番及び6番の一部に限る。)、青沼一丁目で限る。)、中央五丁目(街区符号8日で、一個のでは、一個では、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	一丁目、元紺屋町及び愛宕町、丸の内二丁目、丸の内二丁目、丸の内三丁目、中央、北口三丁目、宮前町、丸の内一丁目甲府市のうち北口一丁目、北口二丁目	所管区

Щ
梨
県
公
報
第千七百三十六号
平成十九年二月十五日

駐川等察官	駐非在所會	比斯警察官	貢川交番		池田交番	千 塚 交 番		
六〇〇二の七甲府市古府中町	目 R 1 T 16 才 号 完	甲府市川田町一	丁目 5 番 16 日 一	<u> </u>	甲府市新田町一	目2番15号 一丁		
丁目、大手二丁目、大手三丁目、屋形、塚原町、岩窪町、古府中町、大手一甲府市のうち上積翠寺町、下積翠寺町	除く。) 及び和田町 一川	及び桜	丁目及び貢川二丁目 日、富竹三丁目、富竹四丁目、貢川一目、貢川本町、富竹一丁目、高畑二丁目、高畑二丁目、高畑二丁目、高畑二丁目、中石田二丁目、高畑二丁田、上石田三丁目、上石田二丁目、三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	町の田三丁目、下飯田四丁目及び下河原町、下飯田一丁目、下飯田二丁目、下町、新田目、中村町、長松寺町、金竹町、新田川、中村町、長松寺町、金竹町、新田川、中村町、長松寺町、金竹町、新田川、	いうちゃ	音羽町、羽黒町及び山宮町村一丁目、湯村二丁目、湯村二丁目、湯大二丁目、湯大二丁目、湯に富士見二丁目、湯に、千塚三丁目、千塚四丁目、千塚五丁甲府市のうち千塚一丁目、千塚二丁目	部二丁目、塩部三丁目及び塩部四丁目が丘二丁目、大和町、塩部一丁目、塩丁目、武田四丁目、緑が丘一丁目、緑目、武田一丁目、緑田一丁目、正田二丁目、正田二丁目、正田二丁目、正田二丁目、正田二丁目、正田二丁目	19、35日一厂19、35日二厂19、35日三厂19、朝日三丁19、朝日四丁19、朝日五丁
				察爾署府				
	小瀬交番			湯田交番	連絡所北口	官 駐 在 所 察	駐 在 所 察 官	
	〇七九甲府市小瀬町一			目11番10号	目2番7号	四六七甲府市平瀬町三	目 4 番 20 号 甲府市徳行一丁	
までを除く。) を除く。)、上町、中でに限る。) 及び19番 (1号から10号番まで、15番、16番 (27号から32号ま番まで、15番、16番 (27号から32号ま	から1号までを余く。く、7番から3町、住吉五丁目(街区符号6番(1号丁目、小瀬町、下鍛冶屋町、下小河原甲府市のうち中小河原町、中小河原一	。)に限る。)及び青葉町 番、16番(27号から32号までに限る。 番、16番(27号から32号までに限る。	_ 5 🗖 💾 🕻 🕭	三丁目、幸町、青召一丁目(封区符号丁目、朝気一丁目、朝気二丁目、朝気二丁目、朝気目、伊勢二丁目、伊勢四日、伊勢二丁目、伊勢四番から6番までを除く。)、伊勢一丁甲府市のうち相生三丁目(街区符号1		平町及び高町、猪狩町、草鹿沢町、黒瀬町、塔岩町、竹日向町、高成町、御甲府市のうち上帯那町、下帯那町、平	丁目、徳行四丁目及び徳行五、徳行三丁目、徳行二丁目、徳行二丁目、徳行二丁目、徳行二丁目	二丁目及び屋形三丁目

			日府市のごを名方□町 中城町 上向	年 府 市 老 右 匚 町	在右上警察	
	番15号	所 太田町連絡	Í H		コロコンを言え	
、上河東及び飯喰中巨摩郡昭和町のうち河東中島、河西	六の六河東中島一五九の六の六		八〇の二及び二〇〇から一三六〇まで二から一五一の一七まで、一七五、一地区に限る。)及び宮原町(一五一の以北の地区に限る。)及び荒川以東の			
押越及び紙漉阿原。) を除く。)、西条新田、築地新居、			耕地、二日市場(県道甲府玉穂中道線、、古上条町、後屋町、大里町(通称北甲府市のうち上小河原町、上条新居町	二四の二甲府市後屋町五	駐在 所 察官	
で、四二四八から四三三七までを余く八八まで及び二一五三から五四〇九ま一中巨摩郡昭和町のうち西条(一から一	六西条一四八一の中巨摩郡昭和町	駐在所 を 整察官	町の。)、堀之内町、高室町及び西下条限る。)、堀之内町、高室町及び西下条			
居及び関原中央市のうち浅利、高部、木原、大鳥	五五六の一中央市大鳥居四	駐在所際官	つの二及が二つつから「三六つまでこから一五一の一七まで、一七五、一八く。)、大津町、宮原町(一五一の二〇に下る)、乃て养丿以真のは区を除			
楽寺、井之口及び若宮中央市のうち西新居、中楯、成島、極	〇〇の二 中央市成島一八	駐在所の場際官	区こ限る。) なび荒川以東の也区を余日市場(県道甲府玉穂中道線以北の地甲府市のうち大里町(通称北耕地、二	一九八の二甲府市西下条町	駐在所 大里警察官	
、一町畑、町之田及び乙黒中央市のうち上三條、下三條、下河東	二〇中央市下河東六	官駐在所	び向町、	] ]	E Z F	
今福及び布施(通称新町に限る。) 、	<u>pr</u>	駐在所	- 吉一丁目、里吉二丁目、里吉三丁目、甲府市のうち蓬沢一丁目、蓬沢町、里	日六三甲府市上阿原町	玉諸警察官	
のうち東花輪、西花	中央市西花輪四	花輪警察官	く。)に限る。)			
)及び山之神中央市のうち布施(通称新町を除く。	七九の四中央市布施三三	官駐在所	まで、四二四人から四三三つよでと余一八八まで及び二一五三から五四〇九和町のうち清水新居及び西条(一から			
甲府市のうち梯町及び古関町	甲府市梯町二七	察官駐在所	丁目及び国母八丁目並びこ中三摩郡召目、国母五丁目、国母六丁目、国母六丁目、国母四丁、国母二丁目、国母四丁	西条五一〇四	番 明 利 目 3	
曽根町甲府市のうち白井町、上曽根町及び下	一九〇四の一甲府市上曽根町	官駐在所		中三季郡召山丁		
山町、下向山町及び心経寺町		官駐在所	増坪町、西油川町、落合町、小曲町及    町、上今井町、下今井町、住吉本町、			

南アルプ	ス警察署										
署所在地	F F 1	官駐在所察	官駐在所	駐在所 客官	在所察官駐	字諏訪警察	駐在所	駐在所 大井警察官	駐 在 所 察官	駐在所 落合警察官	駐在所 五明警察官
南アルプス市十	五所七五九の二	笠原七七九の五南アルプス市小	市之瀬六六の一	マニ六八六の五 南アルプス市百	野三三七九の二南アルプス市有	の二 今諏訪ー三二五 南アルプス市上	野二八九一の二南アルプス市飯	市場六一四の五南アルプス市古	南アルプス市東	合二九五の一 南アルプス市落	沢一二五七南アルプス市荊
南アルプス市のうち十五所、	地で、「「「」」、「「」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」	北の地区を除く。)及び山寺南アルプス市のうち小笠原(滝沢川以	めが丘と野、平岡、高尾、下市之瀬及びあや中アルプス市のうち上市之瀬、中野、	南アルプス市のうち百々及び上八田	及び塩前新田、築山、有野、須沢、大富南アルプス市のうち飯野新田、	訪及び西野南アルプス市のうち上今諏訪、	南アルプス市のうち在家塚及び飯野	宮地及び江原南アルプス市のうち古市場、	和泉、田島及び高田新田南アルプス市のうち東南湖、	、川上及び秋山南アルプス市のうち落合、湯	、戸田及び宮沢南アルプス市のうち荊沢、大
吉田、沢一	曲輪田及び上宮(滝沢川以北の地	滝沢川以	及びあや ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	上八田	大嵐、駒場田	下今調	び 飯 野	鮎沢、下	西南湖、	湯沢、塚原	大師、清水
_					署 菲崎警察						
三田警察官	意 駐 三	官駐在所第	駐在 所 解 官	駐在所察官	番		Land I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	音コスクを	駐在所 祭官		在能響等官
南アルプス市寺	部一四四の一言	中条七〇四の一	十島一九一二の 南アルプス市野	安芦倉七六九	目1番6号 正崎市若宮一丁			日まけんの一	円井五七四の一韮崎市円野町下		四割一〇五三の
南アルプス市のうち十日市場、寺部(		ででは、	原、徳永、上高砂及び下高砂南アルプス市のうち野牛島、六科、	安通南アルプス市のうち芦安芦倉及び芦安	中央丁、本町二丁目、一丁目、日本町二丁目、日本町二丁目、日本田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	— <b>– – –</b>	丁目、上ノ山及び岩下	川川のでも貧丑、竜田衆町、篠原宮竹新田、万才、名取、西八幡及び玉宮竹新田、万才、名取、西八幡及び玉	「「「「「「「「「」」」」「「「」」」「「「」」」「「」」」「「」」「「」」	及び穴山町(通称西河原に限	神山町鍋山及び神山町武田中割、旭町上条南割、神山町北宮地、「前崎市のうち旭町上条北害」旭町上条

\ l						コリアミンの
北杜市のうち白州町白須、白州町台ケ	北杜市白州町台	台ヶ原警察				
井出(川俣川以東の地区を除く。)北杜市のうち大泉町谷戸及び大泉町西	戸二九六六の一	駐在所際官	井ヶ森及び長坂町中島坂町小荒間、長坂町白井沢、長坂町大中丸、長坂町大八田、長坂町夏秋、長中丸、長坂町大八田、長坂町夏秋、長山村村のごち長坂町長坂上条「長坂町	の七九が上条二五七五の七九の七九の七九の七九の一十十八十十八十十十八十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	署 所 右 北	署 扎警察
長坂下条、長坂町日野及び長坂町、長坂町渋沢、長坂町日野及び長坂町北杜市のうち長坂町富岡、長坂町塚川	川二八一九の三   北杜市長坂町塚	官駐在所日野春警察	にようのうででで、「では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		駐山脈	N J L L Klim N
町長沢、高根町堤及び高根町川俣高根町下黒沢、高根町東井出、高根町五町田、高根町上町小池、高根町上町田、高根町上町小池、高根町上町上町上町上町上町上町上町上町上町上町上町上町上町上町上町上町上町上町上	=		· 菜 高 原	甲斐市竜地六五	監 監 監 監 監 監 を と に に に に に に に に に に に に に	
削、高根町寸山化削、高根町蔵原、高新町、高根町村山東割、高根町村山西北土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土土	 輪新町四八三の 北杜市高根町箕	駐在所高根警察官	(通称大栄を除く。) 甲斐市のうち長塚、大下条及び中下条	三二二の二甲斐市中下条一	官駐在所	
に限る。) に限る。) に限る。) に限る。) に限る。)	里三五四五の一	駐在所客官	田祭(通称大栄に限る。)、吉沢及び千条(通称大栄に限る。)、吉沢及び千名沢、上戸沢、中下福沢、上福沢、中では、「東京・河南、「東京・河南、「東京・河南、「東京・河南、「東京・河南、「東京・河南、「東京・河南、			
及び須玉町江草のでを図りました。	志三九三六の一	駐在所管署官	上鸗コ、下鸗コ、「な手、神声、バ、牛句、亀沢、打返、漆戸、獅支市のうち島上条、境、大久保、	七七一の二甲斐市島上条一	官駐在所	
と土方のうる真に丁へ尾、真に丁とに「玉町東向」		岩司 原理 女師 ママ 「カロ	井、藤井町駒井及び藤井町北下条韮崎市のうち藤井町南下条、藤井町坂	下条四九一の四韮崎市藤井町北	駐 在所 察官	
生田、須玉町小倉、須玉町大蔵及び須北杜市のうち須玉町藤田、須玉町大豆	田三九七の三北杜市須玉町藤	駐在所	く。)、中田町小田川及び中田町中条韮崎市のうち穴山町(通称西河原を除	三八五の二	駐在所	
玉町若神子新町及び須玉町境之沢津金、須玉町下津金、須玉町穴平、須北杜市のうち須玉町若神子、須玉町上	神子七の一北杜市須玉町若	官駐在所客	穂坂町三之蔵及び穂坂町柳平 気保、穂坂町三ツ沢、穂坂町宮久保、	一人保介一一の	駐和等	
原及び明野町三之蔵北杜市のうち明野町上手、明野町小笠	手二一四一の三	駐在所上手警察官	を は あたり の の の の の の の の の の の の の	走 奇万惠汉丁 司	重心 (又を) 受べ ごコ	
新田、明野町上神取及び明野町下神取北杜市のうち明野町浅尾、明野町浅尾	尾新田一四九九	駐在所解神警察官	尾、大草叮上条東側、大草叮下条中側下条東割、竜岡町下条南割、大草町若韮崎市のうち竜岡町若尾新田、竜岡町	条東割八二二の一証崎市竜岡町下	駐在所 管際察官	

Щ
梨
県
公
報
第千七百三十六号
平成十九年二月十五日

									II /r41					
								DIA.	髻 鰍 沢 警察					
駐在所警察官	<b>駐</b> 右	岩間警察官	駐在所	上野警察官	駐在所 客官	番 i	<b>も</b> 川大門之		署所在地	官駐在所	駐在所	駐在所		官駐在所
青柳町一三三三南巨摩郡増穂町	の一組町岩間ナヨー	西八代郡市川三	二 郷町 上野 二 三	西八代郡市川三	の二郷町黒沢三一五四八代郡市川三	郷町市川大門五	<b>雪した都市川三</b>	<b>事</b> 服 モーニ クラ	最勝手一三つ、南巨摩郡増穂町	ハー六二の一 北杜市小淵沢町	吹二一二〇の三北杜市武川町三	教来石四八の二	比 :	ヶ原
青柳町南巨摩郡増穂町のうち長沢、大椚及び	八、岩下及び寺所 一杯 書 宮房 裏篭 派 ・	配訳、葛竇尺、鳥子津可、部市川三郷町のうち岩間、落	塚	西八代郡市川三郷町のうち上野及び大	二丁目 鰍沢町のうち駅前通一丁目及び駅前通八之尻、黒沢及び山保並びに南巨摩郡四八代郡市川三郷町のうち下大鳥居、西八代郡市川三郷町のうち下大鳥居、	、中山及び畑熊の田、下芦川、三帳、高萩、垈田、下芦川、三帳、高萩、垈田、下芦川、三帳、高萩、垈田、「カー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファ	西八弋郡市川三郎叮のうち市川大門、 巨輝君	三香が曽恵丁のうらい宮女が高に梅久保及び久保沢を除く。) 並びに南(近れ)・村川・巨野三・野鼠・田科	₹ 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以 り り り り り り り	北杜市のうち小淵沢町	北杜市のうち武川町	川下教来石、白州町鳥原及び白州町大武下教来石、白州町鳥原及び白州町大武		叮璜手 原、白州町花水、白州町大坊及び白州
							무	南部警察						
馬 在 月	常葉警察官				<b>官駐在所</b> <b>宝駐在所</b>	駐在建警察官		署所在地		駐在所 五開警察官	駐き	(1) 大 夜 三 マ で 1 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日 一 日	最勝寺警察	
常奪えてニー	南巨摩郡身延町				   三沢  〇八〇の   南巨摩郡身延町	高住六一七の二南巨摩郡早川町	一百百万三三五百万万三三五百万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万	南巨摩郡南部町		五六三九の六〇南巨摩郡鰍沢町	一	有三季耶兽惠丁	南巨摩郡増穂町	<u></u>
線西側の地区に限る。)線西側の地区に限る。)瀬及び古関(通称丸畑のうち町道田上瀬とび古関(通称丸畑のうち町道田上川 一色 清沢 ブガギ 岩グ 計え	一色、青代、て欠2、言で、巨摩郡身延町のうち常葉、杉山	門、八坂及び大磯小磯門、八坂及び大磯小磯	で成二系ら也で正永た。~ 頂5~ 斤係る地区を除く。)、中之倉 ( 本栖湖る本栖湖区域をいう。以下同じ。) に	域 ( 山梨県警察組織条例別表に規定す   区を除く。)、根子、釜額 ( 本栖湖区		うち身延(四二一七の一に限る。)南巨摩郡早川町及び南巨摩郡身延町の	、下佐野及び井出 「角」位里	と郷、戈島、内哈、E部町のうち南部、大	日向、梅久保及び久保沢に限る。)日向、梅久保及び久保沢に限る。)	の地区、循环ハアー、国別で、別別で屋、長知沢、十谷、鹿島及び旧鰍沢町南巨摩郡鰍沢町のうち箱原、柳川、鳥		ト 大		

	F2 T	F4 亡	-	<del></del>	F-> +/=		_	E- T		Fè L	n	F÷ T	-   -	
新倉連絡所	駐在所 察官	駐 在所 察官	智慧花	察官註生听身延駅前警	駐 在所 察官	官戶到在所	子 上 一 上 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三	駐在所客官		駐七千千年	川口後言笑 50	駐西島所名	日間を見ている。	主
南巨摩郡早川町	万沢五二〇四の 南巨摩郡南部町	福士二八五一五南巨摩郡南部町	# # = 1	角丁丘三七の丘南巨摩郡身延町	梅平六五一の一南巨摩郡身延町	身延三五六七	可 可 で で で で で で で で で で で で で	下山一一三五三 南巨摩郡身延町		切石二七五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五	有三季邯身正丁	一西島一一五一の西島の一五月の田田の田田の田田の田田の田田の田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	豆豆 オナファイン ままま オファイン アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	下部して、南巨摩郡身延町
	南巨摩郡南部町のうち万沢及び十島	南巨摩郡南部町のうち楮根及び福士	- 八木沢及び上八木沢の水沢	と上、大島、丸竜、帯金、大崩、大松南巨摩郡身延町のうち角打、和田、樋	び大野南巨摩郡身延町のうち梅平、波木井及	城、相又、横根中、光子沢及び清子の一を除く。)、小田船原、門野、大の一を除く。	有三套 化多型 人口 二十二 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	南巨摩郡身延町のうち下山及び粟倉	原及び宮木遅沢、八日市場	、矢細工、古長谷、福原、梨子、江尻打沢、日向南沢、寺沢、切石、夜子沢下・四石、東京ので、大学・ジップ・カー・デー	え、し、大		可三重 下手手丁 つうち 自急な ド こうだくり コスター 木久宮 フェブスナ	易と風、ヒと平、兆ヶ星、大子及が川南巨摩郡身延町のうち下部、波高島、
									fi					
								署管學	大 文 文 三 文 三 文 二 、 二 二 二 二 二					
	駐在所	帛上等家品	注 注 主 斯 察 官	駐兵馬	民句多言文字	官駐在所富士見警察		署 万 七 封	<b>雪</b> 斤 王也	絡所 内船駅前連		飯富連絡所	古関連絡所	
	目原七一八四月	育欠 京即 又 了 更 <i>人</i>		黒駒八四四の二	育欠 市 即	内七一の二年の十二の二年の十二の二十二の二十二の二十二の二十二十二十二十二十二十二十二		部五五五五千里方	育 京 京 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可	内船七七六九の南巨摩郡南部町	Ξ	飯富一二九二の南巨摩郡身延町	古関一三九の一南巨摩郡身延町	新倉一二二の一
	御坂町国衙野原、御坂町金川原、御坂町成田及び野原、御坂町金川原、御坂町成田及び御坂町栗合、御坂町蕎麦塚、御坂町下之宮、御坂町井之上、御坂町夏目原、一のでは御町のでは、御坂町井之上、御坂町上	が 一	舌、八弋叮高家、卸反叮大杼寺及び卸   笛吹市のうち八代町奈良原、八代町竹	黒駒、御坂町藤野木及び御坂町尾山黒駒、御坂町藤野木及び御坂町尾山		東高喬、「中町東曲川、「中町少原及柏、石和町河内、石和町今井、石和町笛吹市のうち石和町小石和、石和町唐	町中川及び石和町広瀬の日本の一名和町上平井の石和町下平井の石和町下平井の石和町下平井の石和町下平井の石和町下平井の石和町下平井の石和町下平井の石和町では、	二 二 二						

山梨	
県公報	
第千七百三十六号	
平成十九年二月十五日	

署所在地 富土吉田市松山 富土吉田市のうち竜ケ丘三丁目(街区 古田、上吉田二丁目、上三丁目、新西原四丁目、上三丁目、新西原四丁目、上三丁目、新西原四丁目、上三丁目、新西原四丁目、上三丁目、上三丁目、上三丁目、上三丁目、上三丁目、上三丁目、上三丁目、上三
--

山梨県公報
第千七百三十六号
平成十九年二月十五日

			<b></b>	大月警察							
上 2 交 番	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		習	大月駅前交	駐在所 本栖警察官	駐在所際官	官駐在所	A F	記野警察官 	駐在所 河口警察官	察官駐在所
目1番7号			E 2 1 1	大月市大月一丁	口湖町本栖一八南都留郡富士河	三七五九の一南都留郡鳴沢村	村平野五〇六の南都留郡山中湖		スラー四ー 丘の南都留郡忍野村	三三日期町河口一一南都留郡富士河	七二九四九の三見二九四九の三
		、表喬丁圭さ一「目、、		、大月一厂目、大月二厂目、大月三厂大月市のうち大月町大月、大月町駒橋	本栖及び富士ケ嶺に南都留郡富士河口湖町のうち精進、南巨摩郡身延町のうち本栖湖区域並び	南都留郡鳴沢村	南都留郡山中湖村		南都留郡忍野村	大石 南都留郡富士河口湖町のうち河口及び	富士吉田市のうち小明見
駐在所官	駐在所富浜警察官	駐在所梁川警察官	駐在所初狩警察官	駐在所管察官	*************************************	駐在所盛里警察官	在所宝警察官駐	駐在所	駐在所東柱警察官		
九三三の三	沢二七五七日大月市富浜町鳥		初狩一九八の九	野田一三二四	三〇の三	三〇四の三 三の四の三	一九 和留市中津森七	四の九四の九	三の四年の七九年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の		
野及び七保町瀬戸宮、七保町浅川、七保町林、七保町葛大月市のうち七保町奈良子、七保町駒	及び猿橋町小篠大月市のうち富浜町鳥沢、富浜町宮谷	、梁川町綱之上及び梁川町新倉大月市のうち梁川町塩瀬、梁川町立野	下初狩大月市のうち初狩町中初狩及び初狩町	野及び笹子町吉久保大月市のうち笹子町黒野田、笹子町白	井倉、田野倉及び大原都留市のうち古川渡、川茂、小形山、	び朝日曽雌都留市のうち盛里、与縄、朝日馬場及	森、金井及び平栗都留市のうち厚原、加畑、大幡、中津	及び小野都留市のうち法能、戸沢、玉川、大野	び十日市場が出ていた。一部のでは、一部のでは、一部のでは、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部	上谷、下谷、川	、下谷一丁目、下谷二丁目、下谷三丁目、つる三丁目、つる四丁目、つる五丁目原四丁目、つる二丁目、同四丁目、田原二丁目、田原三丁目、田原二丁目、田原三丁目、田原三丁目、田原三丁目、田原三丁目、田原三丁目、田

Щ

丁目及びコモアしおつ四丁目コモアしおつ二丁目、コモアしおつ二丁目、コモアしおつ一丁目、上野原市のうちコモアしおつ一丁目、	番20号 しおつ三丁目20 上野原市コモア	在所でいる。	
及び松留と関方津、川合、八ツ沢上野原市のうち四方津、川合、八ツ沢	七七〇の三	官駐在所	
上野原市のうち西原	九四八の二四上野原市西原三	駐在所際察官	
上野原市のうち棡原	三三四上野原市棡原二	駐在所際察官	
、大椚、鶴川及び大倉野田尻、大曽根 (通称小倉を除く。) 野田尻、大曽根 (通称小倉を除く。)	五八二 上野原市野田尻	駐在所	
上野原市のうち大野及び犬目	三三五上野原市大野一	駐在所	
上野原市のうち新田及び鶴島	四五上野原市新田八	駐在所	
称小倉に限る。) 上野原市のうち上野原及び大曽根 (通	三八一九上野原市上野原	署所在地	察署野原警
南都留郡道志村	八〇二二南都留郡道志村	駐在所 家官	
南都留郡西桂町	三小沼一五九二の南都留郡西桂町	駐在所客官	
橋町殿上及び猿橋町小沢原、猿橋町藤崎、猿橋町朝日小沢、猿大月市のうち猿橋町猿橋、猿橋町伊良	橋一九一の五大月市猿橋町猿	駐在所 続橋警察官	

鴨沢連絡所	駐在所 小菅警察官	駐在所際官	駐在所
村四九二四の二北都留郡丹波山	四六五四の一北都留郡小菅村	村二八〇二北都留郡丹波山	<ul><li>○九二の四</li><li>上野原市秋山七</li></ul>
	北都留郡小菅村	北都留郡丹波山村	上野原市のうち秋山

#### 附 則

施行期日)

は、平成十九年六月一日から施行する。 この規則は、平成十九年四月一日から施行する。ただし、第十条第七号の改正規定

- の行為とみなす。 よつてなされた処分その他の行為又は警察署の長に対してなされた申請、届出その他 梨県警察の組織等に関する規則 (以下「新規則」という。) に規定する警察署の長に 経過措置) 警察署の長に対してなされた申請、届出その他の行為は、この規則による改正後の山 ・旧規則」という。) に規定する警察署の長によつてなされた処分その他の行為又は この規則の施行の際この規則による改正前の山梨県警察の組織等に関する規則(以下
- に勤務する者は新規則に規定する大月警察署に、それぞれ勤務を命ぜられたものとす 署に勤務する者は新規則に規定する鰍沢警察署に、現に旧規則に規定する塩山警察署 察署に勤務する者は新規則に規定する北杜警察署に、現に旧規則に規定する市川警察 に勤務する者は新規則に規定する日下部警察署に、現に旧規則に規定する都留警察署 この規則の施行の際、別に辞令が発せられない限り、現に旧規則に規定する長坂警

	 _
発 行 者	山梨
山梨	山梨県公報
県 甲府市	第千七百三十六号
元の内一丁	二十六号
甲府市丸の内一丁目六番一号	平成十九年
	平成十九年二月十五日
印刷所株式	
㈱サンニチ印刷	
甲府市北口二丁目六番	
番	
	九六